

英米の視点に限定されない パリで創刊され、160 か国以上で読まれた世界初の「国際新聞」 インターナショナル・ヘラルド・トリビューン・アーカイブ International Herald Tribune Historical Archive, 1887-2013



パリで創刊された International Herald Tribune (以下 IHT) は、その客観的かつ明確な姿勢で知られ、報道対象に国際的な視点で迫りました。執筆陣の多様性も相まって、ユニークで洞察力に満ちた紙面で世に問うたといえるでしょう。

他の多くの報道の先陣をきっていた政治、経済、芸術、文化、科学などに関する IHT の報道

多彩なコラムや執筆陣 多くの評論家や作家・詩人・政治関係者等が様々な立場から寄稿

- コラム「In the Latin Quarter」「Latin Quarter Glimpses」: 戦間期のカルチュ・ラタンを紹介
- ◆エリオット・ポール (Elliott Paul)、ユージン・ジョラス (Eugene Jolas): 戦間期パリのアメリカ人作家
- ◆ラルフ・バーンズ (Ralph Barnes): 伝説的特派員 (大西洋単独飛行でパリに降り立った直後のリンドバーグへの単独インタビューに成功/1930 年代にはドイツ、イタリア、ソ連からファシズム、共産主義の動向を伝え、ドイツのソ連侵攻を予測)
- ◆ヘンリー・キッシンジャー (Henry Alfred Kissinger): 1980 年代以降多くの時評を寄せた
- ◆ウィリアム・パフ (William Pfaff): 1960 年代以降 40 年以上にわたりコラムの連載を続けた
- ◆アート・バックウォルド (Art Buchwald): 「Paris After Dark」や「Art Buchwald」で半世紀以上にわたりユーモアあふれるコラムを書き続けた
- ◆ポーリン・クロフォード (Pauline Avery Crawford): 「Our Times in Rhyme」で韻文形式による時評という新境地を開拓した詩人
- ◆スパロー・ロバートソン (Sparrow Robertson): スポーツ関係のコラムニスト
- ◆ウォルター・リップマン (Walter Lippmann): コラム「Today and Tomorrow」を長期連載
- ◆ジョン・ガンサー (John Gunther): 「Inside Europe」などで名高い
- ◆ドロシー・トンプソン (Dorothy Thompson): 1930 年代、「On the Record」で時事問題に切り込んだ
- ◆ウィリアム・シャイラー (William Shirer): 1930 年代のパリの大暴動を間近で観察
- ◆ジョン・スタインベック: ロバート・キャパとともにソ連を訪問、探訪記を寄稿
- ◆ジョン・クロスビー (John Crosby): ラジオやテレビなどメディア批評の分野で一時代を築いた
- ◆アイベイ・ドーシー (Hébé Dorsey): ファッションを批判的に取り上げ、ファッション批評の新境地を開拓
- ◆ホーマー・ビガート (Homer Bigart): ピューリッツァー賞を2度受賞
- ◆David Bodanis: 1970 年代から日常生活と科学などに関して寄稿
- ◆Caroline Brothers: トルコ、アフガニスタンなど、世界各地に関する記事を執筆

「映像の時代」に相応しい紙面作りを追求

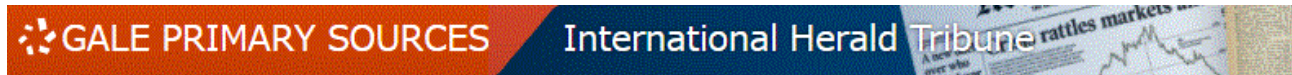
『ザ・タイムズ』、『テレグラフ』、『デイリー・メール』など、同時代のイギリスの新聞が一面に広告を掲載していた時代に、IHT は一面にバナーヘッドラインを使い、トップニュースが一目でわかるような紙面を作りました。20 世紀初頭、映画の到来を前に、新しい紙面作りを追求したのです。大胆な見出しと写真を多用した IHT の紙面は、「映像の時代」20 世紀に相応しい新聞の見本とも言え、国際的な新聞というイメージも手伝って、しばしば映画のなかでも使われてきました。

G.C.19426 裏面に続きます→



(Gale, Cengage Learning / 指定代理店)

無料トライアル 受付中



19世紀末パリで創刊されたIHT（IHTの紙名の変遷は、下記に）は、1930年代にはファシズムに有和的な論調に傾きました。しかし、紙面がファシズム一色に染まったわけではなく、反ファシズムの立場のコラムも同時に掲載。1930年代のIHTには、共産主義に対する防波堤としての役割をファシズムに期待する世論、ファシズムにおける自由の抑圧を批判する世論が相克した時代状況が映し出されています。第二次世界大戦後は160カ国以上で販売されるグローバルな新聞に成長。20世紀における世界のアメリカ化、異文化に対するフランスの態度の変化を克明に記録しています。

収録年代：1887年10月4日号（創刊）— 2013年10月14日号
『インターナショナル・ヘラルド・トリビューン』

創刊当初の紙名は、『ニューヨーク・ヘラルド』ヨーロッパ版、その後『ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン』ヨーロッパ版を経て、『インターナショナル・ヘラルド・トリビューン』へ変更されました。

『インターナショナル・ヘラルド・トリビューン』（IHT）を継承する形で現在の『ニューヨーク・タイムズ』（NYT）国際版が発行されたため、IHTは以前からNYT国際版として発行されてきたとみなされることがありますが、IHTがNYTと記事を共有するのは、NYTがIHTの100%親会社になった2002年以後です。NYTがIHTの100%親会社になる前のIHTは、NYTが共同所有者だった時代を含め、独自の編集体制のもとで発行されてきました。

※ナチスドイツ占領期の1940年6月12日から1944年12月21日までは発行停止により未収録

※一部記事は、権利関係により不掲載

※画像は、原資料の劣化等により、一部、不鮮明な場合がございます

言語：英語

収録資料数：記事 600万点以上 ページ数 50万頁以上【原紙を直接スキャンング】



～デジタル人文学/デジタル情報学へ誘う～ Gale Digital Scholar Lab

本データベースは、Gale Digital Scholar Lab（ゲール・デジタル・スカラー・ラボ）【別売】を導入いただくことにより、オンライン上で直感的にテキストマイニングをおこなうことができます。Gale Digital Scholar Labの詳細は、お問い合わせください。

参 考 価 格 表 （税抜）

ご契約の際は、所属機関のIPアドレスが必要となります。 同時ユーザー数は無制限です。

データベース購入型

FTE（学生数＋教員数）	-5,000	5,001-15,000	15,001-30,000	30,001-
コンテンツ料（導入時のみ）	お問い合わせください			

◆バックアップデバイス提供可能（有償・納期約1か月） ◆完全買い切り（アクセスフィー無料）

年間購読型（毎年更新）

FTE（学生数＋教員数）	-5,000	5,001-15,000	15,001-30,000	30,001-
年間購読料	お問い合わせください			

◆バックアップデバイスは提供されません

- 消費税に関しましては税制の改正に則った内容で対応させていただきます。掲載製品はリバースチャージ対象製品です。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由による価格の変更や掲載タイトルの変更につきましては、予めご了承の程お願い申し上げます。
- 正式なお見積もりは、別途ご用命ください。

G.C.19426 資料 No.12-2025-035